



那須

11 月号
No.735
2020年(令和2年)



表紙シリーズ

はぐくむ
喜びX
~農業の魅力~
6次産業

澄み切った空の下で 新そば収穫

目次

特集~若い世代の定住へ~	2
タウンピックアップ	4
子育て・ほけんだより	22
生涯学習だより	24
図書館だより	28
タウンinformation	29
カメラスケッチ	32
みんなの広場	34
那須平成の森だより	38

音訳ボランティアの協力を得て、目の不自由な人のために音訳版広報那須を作成しています。詳しくは広報広聴係まで

若い世代の定住へ 黒田原地区に 新婚・子育て世帯向け集合住宅を整備



(外観イメージ図)

町は、町営上の原第1団地跡地に計画している「黒田原地区定住促進住宅整備事業」で、「全室3LDK」「エレベーター付き」の3階建て集合住宅（全21戸）を整備します。この事業は、新婚や子育て世帯の住環境を整え、移住、定住を促進するための事業で、設計、施工、維持管理を一括して民間事業者が担う「PFI方式」を採用します。令和4年1月の入居開始を予定しています。

これまでの経緯

町は、計画期間を平成28年から令和7年とする第7次那須町振興計画の重点的な取り組みとして、移住・定住を促し、子育てしやすいまちづくりを目指しています。

「黒田原地区定住促進住宅整備事業」は、同計画に基づき、新婚・子育て世帯向けの住宅を整備する事業です。事業を進める中、平成30年に町ふるさと定住課が「町内企業に勤務している35歳以下の方」に実施したアンケートでは、「希望する賃貸住宅があれば那須町に住んでも良いと考えるか」との問いに、約57%の方が「はい」と回答するなど、若者世代の意向を確認することができました。同事業では、令和元年12月から



事業者を募集、選考した結果、令和2年9月4日、事業者を那須ライフ株式会社（代表取締役 弓場昭大氏）に決定しました。

アンケート結果（抜粋）

- Q 現在のお住まいは？
A 賃貸住宅35.3%、実家29.8%、持ち家17.5%、寮11.5%、社宅5.2%
- Q 現在のお住まいの地域は？
A 那須塩原市47.6%、那須町36.9%、大田原市8.7%、白河市・西郷村28%
- Q 賃貸住宅に住む場合、希望の立地は？
A 勤務地の近く76.6%、買い物施設などの近く76.6%、駅など公共交通機関の近く42.5%、病院の近く28.6%

今後のスケジュール

令和3年11月までに工事を完了し、令和4年1月から入居開始を予定しています。現在、入居の募集は行っておりません。募集時期は、決まり次第、広報紙と町ホームページでお知らせします。

▼入居要件

① 所得要件 世帯の月額合計収入が、158,000円〜487,000円

② 世帯要件 18歳未満の方がいる世帯または新婚世帯

▼家賃等（月額）

- ・家賃 57,000円
- ・共益費 3,000円
- ・駐車場（1台）2,000円

▼問合せ ふるさと定住課住宅政策係 ☎ 6955



県内自治体初の取り組み



同事業の実施にあたり、町と那須ライフ株式会社、同社への融資金融機関である那須信用組合は、9月11日、県庁内の県政記者クラブで事業の概要などについて記者発表しました。PFI方式による賃貸住宅の整備は、県内自治体では初めての取り組みとなります。

那須ライフ株式会社 代表取締役 弓場昭大氏



移住・定住促進の一助に

那須ライフ株式会社代表企業の弊社は、これまでに九州をはじめとする各地でPFI事業に参加し、建設から維持管理、運営を行って参りました。弊社の実績とノウハウを生かし、子育て世代の方々に

安心して居住していただき、移住・定住の一助となればという思いで参加いたしました。

町や地元金融機関との協働

那須信用組合様からは事業期間である約31年間、事業資金の融資をしていただくなど、官民双方の連携（協働）により、質の高いサービスや町財政の平準化、事業リスクの軽減が期待できます。これにより、若年層の町外流出の抑制、流入の増加、ひいては那須町の地域経済の活性化につなげていきたいと思っております。

設計・施工・管理の工夫

町内初となる「エレベーター付き」「3LDK」の集合住宅であ

那須信用組合

理事長 菊地一浩氏



融資に迷いなし

当組合は今年の3月、相互の発展と地域創生の実現に資することを目的として那須町と東京都の第一勧業信用組合の3者で包括連携協定を締結させていただいており、

今回の事業はまさにこの目的に合致していると思いき、融資金融機関として迷いなく手をあげさせていただきました。

地元信組の使命を果たす

当組合はこれまでもあらゆる手段で東京圏をはじめ各方面に那須の魅力を発信してきています。その中で「那須」はすでにブランド化されていると感じています。本事業により、その那須にまた一つ魅力がプラスされることになりま

子育て支援も

り、全戸南向きのリビングは十分な日照時間を確保できます。遮音性、気密性にも優れ、十分な収納スペースを確保しています。さらに、24時間コールセンターによる365日対応可能な体制を整えます。エントランスにはオートロック、建物には防犯カメラ、敷地外周部にはネットフェンスを設置します。那須町、そして地元企業の皆様とともに推進してまいりますので、よろしくお願ひいたします。（書面によるインタビューをもとに構成しました）

移住・定住支援にあわせて、町では、3歳までの子どもの保護者を対象に「乳幼児おむつ等購入助成券事業」や、18歳までの子どもの医療費を助成する「こども医療費助成事業」を実施し、子育て支援にも取り組んでいます。



子育て支援センターの「絵本の読み聞かせ講座」の様子

令和元年度に実施した主な事業

※ ◎は新規事業

総務費

- ふるさと納税の推進
- 町民バス・デマンド型乗合交通の運行
- 地域づくり事業・自治会活動の推進
- 戸籍・住民票等窓口発行業務の民間委託
- 参議院議員・県議会議員選挙



新しくリニューアルした町民バス（2台）

商工費

- ◎プレミアム付き商品券事業
- 中小企業金融対策（信用保証料・利子助成等）
- インバウンド等の誘客プロモーション事業
- 道の駅「那須高原友愛の森」再整備事業
- 地域ふるさとまつり（九尾まつり等）の開催

土木費

- 道路改良・河川改修事業
- 道路・橋りょう・河川補修事業
- 町営住宅・定住促進住宅の管理運営
- 移住定住支援（コーディネーター・住宅取得助成等）
- 地域おこし協力隊事業（4人）

消防費

- 那須地区消防組合運営費負担、消防団の運営
- 消防団詰所新築工事（高瀬地区）
- 消防ポンプ車購入（上下田地区）
- 防災行政デジタル無線スピーカー増設工事



新築した消防団詰所（高瀬地区）

民生費

- 福祉タクシー利用料金の助成
- こども・妊産婦・ひとり親家庭等医療費の助成
- 障害者自立支援・福祉サービスなど
- 保育園の運営、子ども・子育て支援施設型給付
- 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）



保育室を増築した伊王野保育園

教育費

- プログラミング教育推進事業
- 小・中学校のスクールバス運行
- 小・中学校パソコン情報教育の推進
- ◎小・中学校エアコン整備事業（8校）
- 中学生海外派遣事業（オーストラリア）
- ◎国民体育大会開催準備事業



小学校のパソコン情報教育の様子

衛生費

- 健康診査・がん等検診・健康づくり教室開催
- ◎産後ケア事業・新生児聴覚検査の助成
- インフルエンザなどの各種予防接種の助成
- 一般廃棄物の収集・運搬・最終処分
- クリーンアクション那須旧焼却施設の解体工事

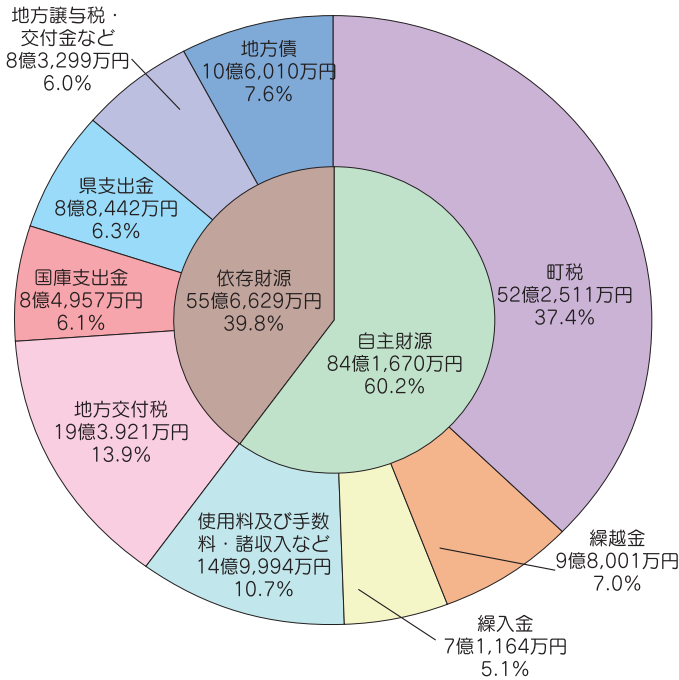
農林水産業費

- 農業公社事業（農業相談窓口、研修会等）
- 地産地消推進（学校給食へ那須和牛等の提供）
- 有害鳥獣対策事業（捕獲、防護柵補助等）
- 畜産担い手育成総合整備（草地・畜舎整備等）
- ◎山村施設改修工事（寄居集落センター等）

那須町の財政

令和元年度決算状況・
令和2年度上半期の執行状況

令和元年度決算状況



皆さんがお住まいの町の財政がどのような状況であるのか、皆さんに納めていただいた税金などがどのように使われているのかをお知らせするため、財政状況の公表を行っています。

今回は
「令和元年度決算状況」
「令和2年度上半期の執行状況」
「財政健全化比率等」
についてお知らせします。



一般会計歳入総額

139億8,299万円

前年度対比 +12億7,150万円 (+10.0%)

主な用語

- 自主財源…町が主体的に集めるお金
 - ・町税…皆さんに納めてもらう税金
 - ・繰入金…基金を取り崩したお金など
- 依存財源…国などから交付されるお金
 - ・地方交付税…一定水準の行政サービスを提供できるように国から補てんされるお金
 - ・国庫支出金…国から交付されるお金
 - ・県支出金…県から交付されるお金
 - ・町債…国や銀行などから借りるお金

一般会計歳出総額

129億471万円

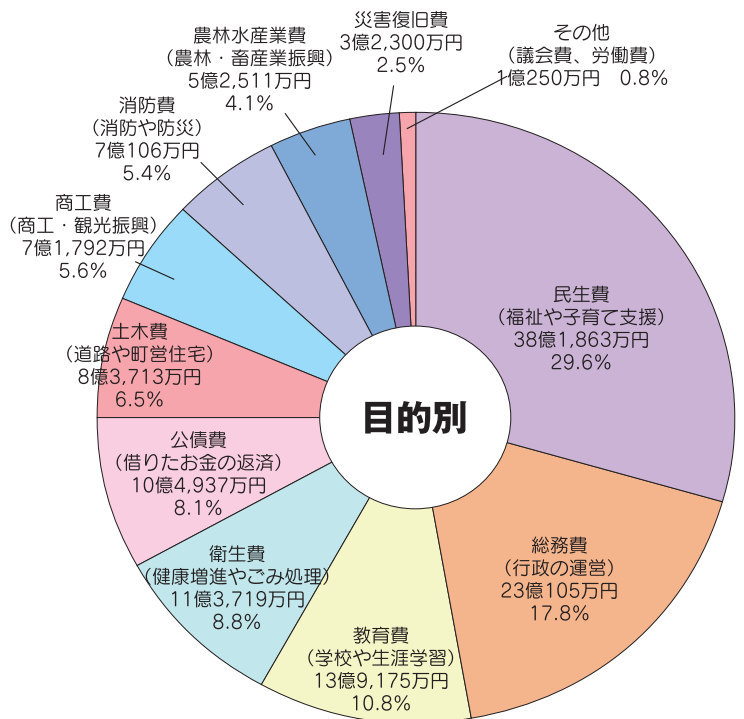
前年度対比 +11億7,323万円 (+10.0%)

町民一人あたりの額 (一般会計)

- 一人あたりが負担した税金 209,735円
- 一人あたりに使われたお金 517,990円

【内訳】

民生費	153,278円
総務費	92,364円
教育費	55,864円
衛生費	45,646円
公債費	42,122円
土木費	33,602円
商工費	28,817円
消防費	28,140円
農林水産業費	21,078円
災害復旧費	17,079円



那須町の家計簿 ～那須町が月収40万円の家庭だったら～

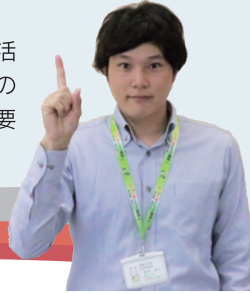
令和元年度の一般会計決算を家計に置き換えてみました。家庭の家計簿と町の財政では単純に比較できないところもありますが、町の財政内訳の参考としてご覧ください。

【収入】 () 内は歳入項目

給料 基本給 (町税)	149,500円
諸手当 (地方交付税など)	79,300円
小計	228,800円
パート収入 (使用料、手数料など)	42,900円
給付金 (国・県補助金など)	49,600円
前月からの繰越 (繰越金)	28,000円
貯金の取り崩し (繰入金)	20,400円
借り入れ (町債)	30,300円

収入合計 400,000円

- 収入は給料日前に現金が不足したため、貯金を取り崩しましたが、その後、同額以上を貯金できました。また、自宅の改修費に対して借り入れを行いました。
- 支出では医療費や子供への仕送りが毎月増えています。また、自宅や車が古くなってきたので、今後の維持費が心配です。
- これからは、健康に気をつけ、生活費などの見直しをしながら、自宅の改修などを計画的に行っていく必要があります。



【支出】 () 内は性質別歳出項目と説明

食費 (人件費：職員の給料、議員の報酬など)	58,900円
生活費 (物件費・補助費等：需用費、委託料、旅費や補助金)	107,700円
医療費 (扶助費：福祉などのために給付するお金)	57,700円
車の修理費 (維持補修費：施設や道路の修繕費)	1,800円
自宅の改修費 (普通建設事業費：道路や施設の建設費)	33,700円
子供への仕送り (繰出金・貸付金：他会計などへ支出するお金)	45,600円
ローンの返済 (公債費：借りたお金の返済)	30,000円
貯金 (積立金：基金へ積み立てるお金)	24,200円
予定外の支出 (災害復旧費)	9,600円

支出合計 369,200円

収入と支出の差額は翌月へ繰り越します。

特別会計及び水道事業会計の決算状況

特別会計は特定の事業を行う場合、その事業で得られる収入によって事業を行うため、一般会計とは別に会計を設けています。

特別会計	歳入	歳出
国民健康保険	38億5,436万円	37億4,530万円
後期高齢者医療	3億4,431万円	3億4,049万円
介護保険	28億9,794万円	27億7,353万円
下水道事業	6億2,565万円	6億1,159万円
観光事業	3,060万円	3,019万円
宅地造成事業	610万円	592万円

水道事業会計は地方公営企業法の適用を受けて経営する会計です。

水道事業会計		
収益的	収入	7億 255万円
	支出	6億9,119万円
資本的	収入	1億5,285万円
	支出	4億6,072万円

公有財産の状況

土地	443万1,763㎡
建物	15万3,616㎡
山林など	437万 169㎡
立木推定蓄積量	6万5,926㎡
出資金など	5億8,450万円
一般会計基金	32億2,343万円
特別会計基金	5億5,842万円
基金計	37億8,185万円

町債の状況

一般会計	115億6,277万円
うち臨時財政対策債	63億5,568万円
下水道事業特別会計	15億2,400万円
水道事業会計	25億7,281万円
合計	156億5,958万円

臨時財政対策債…財源不足を補うために特例で借りられるお金。この返済金相当額は地方交付税として国から交付されています。

※公有財産と町債の状況は、令和元年度末現在の状況です。

令和2年度上半期の執行状況

令和2年度上半期（9月30日現在）の歳入歳出予算の執行状況をお知らせします。

会計名	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一般会計	185億4,200万円	105億7,654万円	57.0%	79億3,361万円	42.8%
国民健康保険	37億760万円	14億4,439万円	39.0%	13億3,400万円	36.0%
後期高齢者医療	3億4,560万円	1億2,830万円	37.1%	1億1,858万円	34.3%
介護保険	27億7,790万円	12億7,550万円	45.9%	11億4,950万円	41.4%
下水道事業	5億119万円	3,908万円	7.8%	1億1,632万円	23.2%
観光事業	2,390万円	42万円	1.8%	841万円	35.2%
宅地造成事業	5,460万円	18万円	0.3%	7万円	0.1%
計	259億5,279万円	134億6,441万円	51.9%	106億6,049万円	41.1%

水道事業会計		予算額	執行額	執行率
収益的 (事業収益を目的とする収支)	収入	7億2,816万円	3億2,306万円	44.4%
	支出	7億3,106万円	1億1,882万円	16.3%
資本的 (施設整備を目的とした収支)	収入	1億8,995万円	0円	0.0%
	支出	5億460万円	1億1,939万円	23.7%

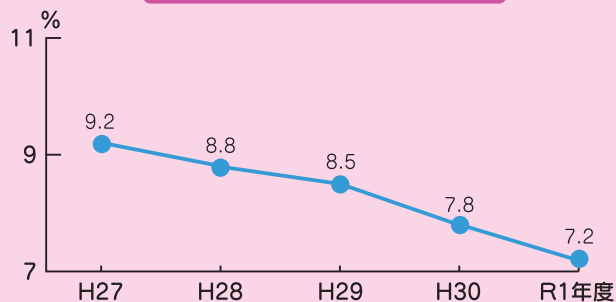


財政健全化比率等の公表

令和元年度決算による財政健全化比率等は、いずれの指標も基準を下回っており健全な状況です。

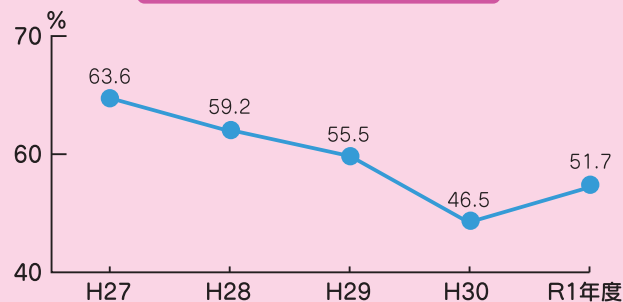
指標	説明	町の比率	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計などの実質赤字額の標準財政規模に対する比率（黒字のため該当なし）	—	13.9%
連結実質赤字比率	すべての会計を対象にした実質赤字額（または資金不足額）の標準財政規模に対する比率（黒字のため該当なし）	—	18.9%
実質公債費比率	一般会計などが負担する元利償還金等の標準財政規模に対する比率（過去3カ年の平均）	7.2%	25.0%
将来負担比率	一般会計などが将来的に支出することが見込まれる額から、充当可能財源を控除した額の標準財政規模に対する比率	51.7%	350.0%
資金不足比率	公営企業会計ごとの資金不足額の事業規模に対する比率（資金不足を生じた公営企業がないため該当なし）	—	20.0%

実質公債費比率



一部事務組合等の元利償還金（返済金）が減少したため、0.6ポイント改善し7.2%となりました。

将来負担比率



公営企業債等の繰入見込額などの増加により、5.2ポイント上昇し51.7%となりました。

災害時こそ強い絆で

西郷村と災害時における相互応援に関する協定を締結

10月28日、町は福島県西郷村と「災害時における相互応援に関する協定」を締結しました。

この協定は、町と西郷村に地震、水害、火災等の大規模災害が発生し、被災者救護等の応援措置の実施に困難が生じている場合における相互の物資提供、避難者の一時受け入れ、職員の派遣等の応援をするものです。



締結式では、平山町長が「町は、平成10年の那須水害や、平成23年に発生した東日本大震災、昨年の東日本台風（台風19号）など、これまでいくつもの大きな災害に遭いました。災害への迅速な対応には、一つの自治体だけでは、難しい業務もあり、コロナ禍での避難所の開設などでは、多くの人員が必要で、この協定は、今後のコロナ感染症対策も含めた新たな防災対策においても重要なもの」とあいさつしました。

また、高橋廣志村長（写真右）は「近年、毎年のように発生する自然災害は多様化・広域化しており、あらゆるケースを想定して対策を行う必要があります。この協定による那須町との間での協体制の強化は、今後の災害対策を実施する上で大変意義のあるもの」と応えました。

- ▼協定内容 大規模災害が発生した場合の相互応援事項
- 被災者救護等の応急措置の実施に困難が生じている場合における相互の物資提供
- 避難者の一時受け入れ並びにそれに伴う施設の提供
- 本協定に基づき実施する応援に必要な職員の派遣
- ▼問合せ 総務課防災交通係 ☎726902

那須町管内で死亡事故が発生!!

10月6日午後3時45分頃、那須町大字豊原甲地内で、トラクターが畑に転落する事故が発生しました。この事故で、トラクターを運転していた53歳の男性が亡くなりました。

このような痛ましい事故を起さないためにも、トラクター等の農機を運転する方は、次の点に注意して安全運転をお願いします。

① 確実な運転操作とブレーキ連結の確認

農機による死亡事故は、ハンドルやブレーキ操作ミスによる単独事故が多いため、道路状況に合った確実な運転を行いましょ。道路走行時は必ず左右のブレーキを

連結しましょう。

農作業前後に道路上を走行する際は、ブレーキ連結をしていないと、ブレーキを踏んだときに、急旋回して転落、横転する事故につながる恐れがあります。

② 安全キャブ・フレームの装着とシートベルトの着用

救命効果の高い安全キャブやフレームがついているトラクターを利用しましょう。トラクター等の農機運転中は必ずシートベルトを着用しましょう。

③ ランプ類や低速車マーク等の取り付け

一般車両との接触や追突を防ぐためには周囲に気付いてもらうことが大切です。「低速車マーク」や「反射材」を取り付けましょう。

▼問合せ 総務課防災交通係 ☎726902

防災のワンポイント

▼災害発生時に安全に避難するための心得

○人混みでパニックにならないために、周りの人に配慮した行動を心がけましょう。

○地下では壁伝いに歩いて避難しましょう。

○火災が発生している場合は、ハンカチなどで口と鼻をおおい、

できるだけ低い姿勢で煙を吸わないように避難しましょう。

○切れたり、垂れ下がっている電線には、近づいたり触ったりしないよう注意しましょう。

○夜間は、懐中電灯等を使用し、目視確認を行いながら避難しましょう。

○冬季に避難する場合、防寒対策をしっかり行い避難しましょう。避難先でストーブ等を使用する場合は、火災にも注意しましょう。

コロナ禍 災害時でも町民の安心を第一に 避難所開設・運営訓練を実施

新型コロナウイルスが終息しない中で、避難所を開設する場合、感染症対策に万全を期す必要があるため、10月5日、町職員が相互に緊密な連携を図りながら、避難所の開設準備と初期運営を行うための対応力強化を目的に、「新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所開設・設営訓練」を実施しました。

町職員約100人が参加し、町が定めた「新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所開設方針」に沿って、避難所を設営し、避難者を受け入れました。

▼訓練想定（風水害想定）

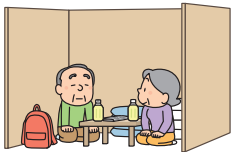
○台風の影響により、県の間部を中心とした総雨量は500mmを超えた。

○湯本、芦野および伊王野地区で土砂災害警戒情報が発令。

○余笹川の水位が避難判断水位を超えたため、付近住民に対し避難勧告を発令。

▼訓練場所

- ・対策本部訓練 役場正庁
- ・避難所設営訓練 スポーツセンター



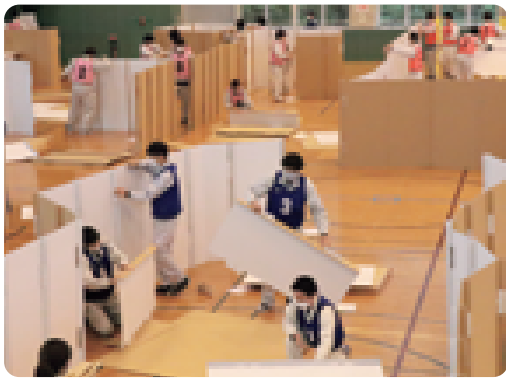
災害対策本部訓練

避難所の開設と設置箇所を決定。避難所担当の本部員は、直ちに担当職員に決定内容を伝達。



避難所設営訓練

パーティションを組み立て、避難スペースを確保し、段ボールベッドを作成。また、玄関内に受付、検温、問診場所を設置。



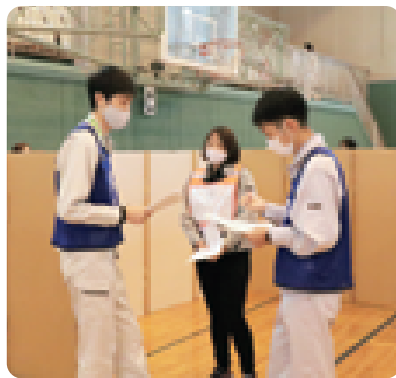
避難所受付訓練

避難者を玄関内で検温、問診票記入の案内。一般避難者と濃厚接触者等を区別。濃厚接触者等は車や隔離スペースに案内し、情報を保健センターへ伝達。受け入れてきるかを確認し、保健センターへ誘導。



避難所運営訓練

順次避難スペースへ誘導。世帯員数によりパーティションの配置を変更。避難者の要望を聞き取り、対応する。



訓練者として参加した職員の声

○感染症対策を踏まえた避難所の開設の流れを確認できたので良かった。

○夜間や停電が発生した場合は、今回の訓練以上に混乱したり時間を要したりすると思われるので、あらゆる事態を想定した訓練が今後も必要だと感じた。

町では、この訓練を生かし、有事の際は職員がスムーズに行動できるよう努め、良好で安全な避難所生活の確保を図っていきます。

▼問合せ 総務課防災交通係

☎ 72-6902

安全・安心な暮らしのために 日本郵便株式会社と協定を締結



10月23日、町は日本郵便株式会社と、両者が有する人的・物的資源を有効活用して、町民サービスの向上等を図るため、包括連携に関する協定を締結しました。

協定の内容は、高齢者、障がい者、子どもたちへのサポートや災害時の協力に関すること、地域の活性化、町民サービスに関することなど9項目です。（下記参照）

締結式では、平山町長が「地域にあり、地域をよく知る日本郵便株式会社様と共に地域課題の解決に向けて活動することは、地域活性化や住民サービスにつながると確信しています」とあいさつしました。

日本郵便株式会社黒田原郵便局大野拓実局長（写真右）は「以前から那須町とは、いくつかの協定を結び連携をしていますが、この包括連携の協定を結ぶことで、より広くより迅速に連携協力ができる体制が整いました。これからも住民の安全安心な暮らしに貢献できよう努めてまいります」と応えました。

▼連携事項

- 高齢者、障がい者、子どもその他住民等の何らかの異変に気付いた場合
- 道路の異状を発見した場合
- 不法投棄が疑われる廃棄物等を発見した場合
- 災害時における協力に関すること
- 安全・安心な暮らしの実現に関すること
- 地域経済活性化に関すること
- 未来を担う子どもの育成に関すること
- 女性の活躍推進に関すること
- その他、地域の活性化・町民サービス向上に関すること

▼協力郵便局

黒田原郵便局、芦野郵便局、伊王野郵便局、小島郵便局、那須郵便局、那須温泉郵便局、大田原郵便局、黒磯郵便局

▼問合せ 企画財政課総合政策係

☎ 6906

とちぎの食材の魅力と実力を全国に発信！
ホテルエピナール那須総料理長菅井慎三さんが「とちぎ未来大使」に任命されました



9月24日、県の魅力や実力などをPRする「とちぎ未来大使」に、ホテルエピナール那須の総料理長の菅井慎三さんが任命されました。菅井さんは、高校卒業後、都内の料理店で7年間修業。その後、割烹料理屋で1年間煮方（副料理長）を、日本料理店で1年間板前（副料理長）を務めました。

平成4年2月からホテルエピナール那須のオープンングスタッフとして勤務。平成19年に総料理長に就任しました。現在は、千葉県成田市にある同グループホテルの総料理長も務めています。

神奈川県出身の菅井さん。同ホテル建設中の調理場で食べた塩おにぎりが、冷めた状態でもおいしかったことに驚き、おいしいお米は武器になると思ったそうです。

「お米だけでなく那須は野菜もおいしい。全国から来るお客さまに、那須の良い食材を知ってもらいたい」と、地元の野菜を生かした料理の提供を20年以上続けています。

また、10年程前から食育についての講演を県内の小中学校で行っています。昨年11月には、那須中学校で「那須の豊かな食！」をテーマに講演（左写真）。那須の食材の良さを生徒に伝えました。

「今までやってきたことがこの度の任命につながったのだと思う。栃木は肉、乳製品、野菜、川魚、どの食材もレベルが高い。これからもスタンスを変えず、栃木、そして那須の良い食材を、もっと全国に発信していきます」と、意気込みました。

